

平成16年度発生災害による 治山・林道関係災害復旧状況

平成16年度は、県南部を中心に9回にわたり山地災害を受け、特に台風21号災は県全体で218億円を超える治山関係被害がありました。また、林道は、199路線・386箇所・41億円が災害復旧事業の対象となるなど、甚大な被害を受けました。

1 (山地災害)

山地災害の復旧については、342箇所、128億円の全体復旧構想に基づき、平成16年度は約16億1千万円で復旧工事に着手したことを皮切りに、平成17年度は大台町(旧宮川村)をはじめとして約31億7千万円を、平成18年度には約24億2千万円を投じて復旧工事を進め、平成18年度末の復旧累計進捗率は56%となりました。

なお、平成19年度は約16億3千万円の予算により、復旧累計進捗率は69%となる見込みです。さらに、被災から5年目に当たる平成20年度末には73%の復旧を想定しています。

2 (治山施設災害)

治山施設災害復旧については、平成16年度予算約2億6千万円で70%を実施し、平成17年度で完了しました。

3 (林道施設災害)

林道施設災害復旧については、386箇所、41億円の全体復旧構想に基づき、平成16年度事業として17億6千万円(進捗率52%)、平成17年度事業として16億6千万円(進捗率97%)、最終年度の平成18年度においては、残事業分約1億8千万円を予算計上し(進捗率100%)一部は繰越したものの、平成19年8月にはすべて完了いたしました。



被災状況



復旧状況



被災状況



復旧状況